

狩り出すぞ!
下町人な妹!



ADULT ONLY



子供じやうたん
プリンセスたん



はいこんにはティオくの
国のプリンセスさまです。
毎日がおんおんパラダイス。

ふしぎ星のふたご姫はなんか
朝から小さい娘とカティオくん
がキャホイはしゃいでて
気がつくとわりと光線系の
必殺技でとどめをさすん
るうなツラで目を輝かせては
通報したりさんなかったり
するステキなアニメですよ!

そんなふしぎ星の魅力を
みなさんにお伝えするべく
ポンを走らせたらすごく
わけのわからないマンガが
できました。ふしぎ星というより
死光星。まあゆるゆるとみごみご
お母さまへ

これから出てくる娘さんたちは一見
アシロアがたふん異星人でして
たんとメロン星人やイカルス星人
とかと体成分が酷似している
ということが最近の研究で判明
したんです。つまり何が「いいえい
のか」というと登場人物は地球
年齢で約10万歳くらいなので
全く問題はありません。



次のプリンセスローンはセクミリーの番勝負にて
セクミルプリンセスを決定いたします!!

コ

ファインよ逃げよう

世界はこわれたおもちゃだから!!!

ま-ま



ママママ
ニとと

んんん!!

ファンナキキ
プリンセスユキ...

母サキリン

んんん

セクミリー? セクミリー
何? おかぬナニマ!!



「ムンギムンギロリー」
「オムムムムムム」

「ロリー」
「ロリー」

「ロリー」

「ムムムムムム」
「ロリー」



「みんなプリンセス改め
スレイブパーティですが」

「キムニムニ
なったあー!!!」



「首がホロリともげ
落ちることもあります」

「どんなパーティだ
これ——!!!」



「これがおかあさまは
すてきなプリンセスに……」



「私はね、昔ちゃんぽん
優勝したのよ……」

「おかあさま……」

ママが産んだ子なんだ
生まれました

ママが産んだ

マイン...
...ママが産んだ...



子宮へ



フンゲー



ドムドムドム

キヤール

は!?

フキコロガガクキガ
グーローガエエキガナキ
ダグコロロロ...



変態キター!!

変態キター!!

変態キター!!

変態キター!!

変態キター!!

変態キター!!



変態キター!!

変態キター!!

変態キター!!

変態キター!!

変態キター!!

変態キター!!



変態キター!!



変態キター!!



こ

なぜアルテッサは
あんなかっこいい...

なつたぬけ!!
親父にもぶたれたこと
なつたぬけ!!

そんなブライトに
なつたぬけの
セーフ



いや思春期の
セーフはエビさ

おまじの思春期
ナメんなよ!!
昔イキに
暴れたってこと
なつたぬけ!!

ママに泣いて
思春期こえー

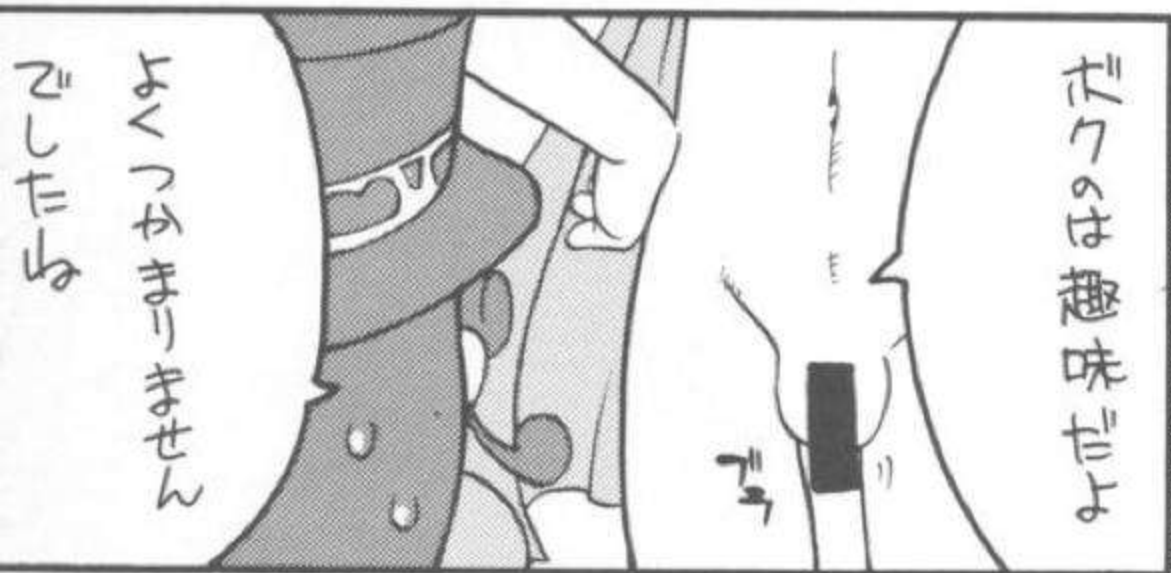
フカブライトさま
はなんで裸?

ボクマ

ママアルテッサも
思春期だから

それは生理だ

ママに泣いて
思春期こえー



ボクのは趣味だよ

よくつかまりません
でしたら



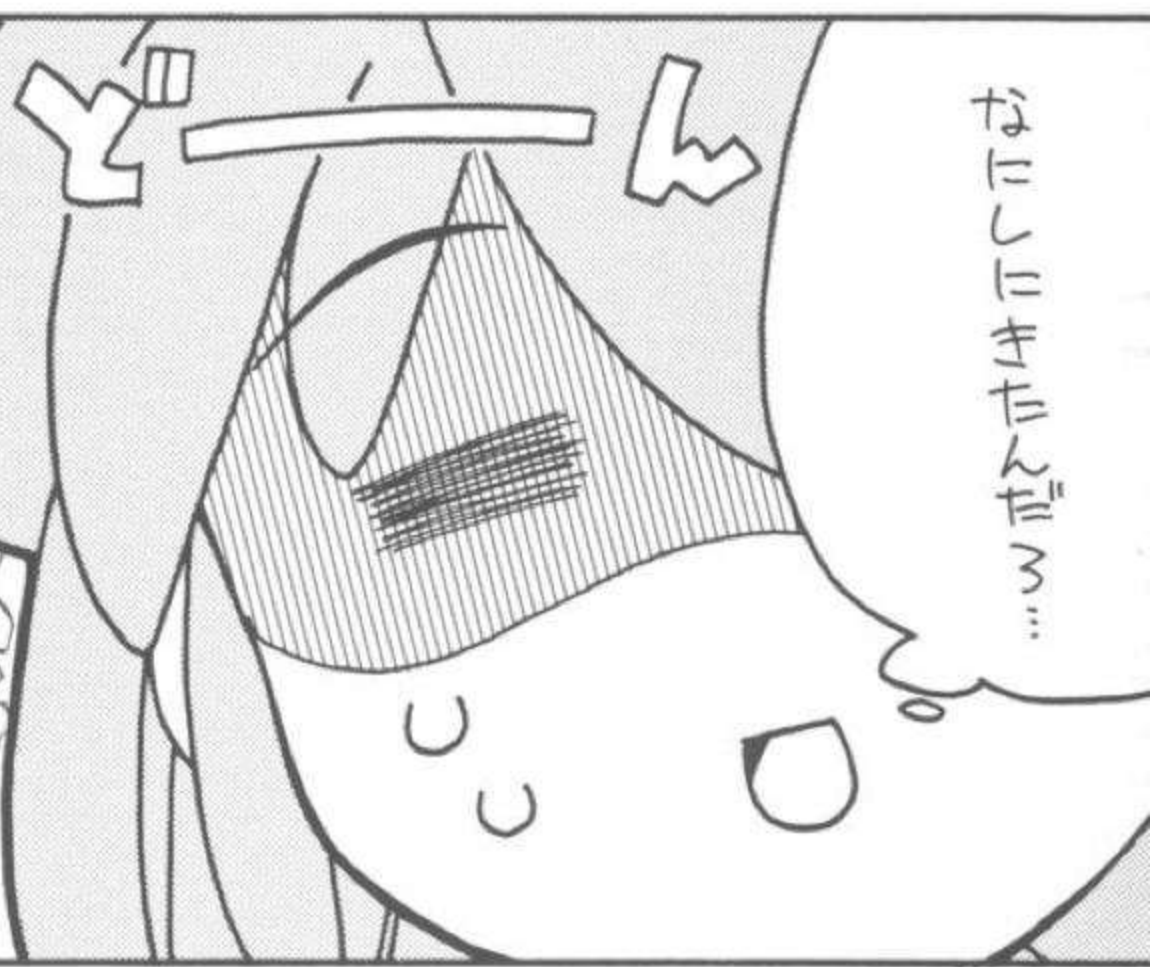
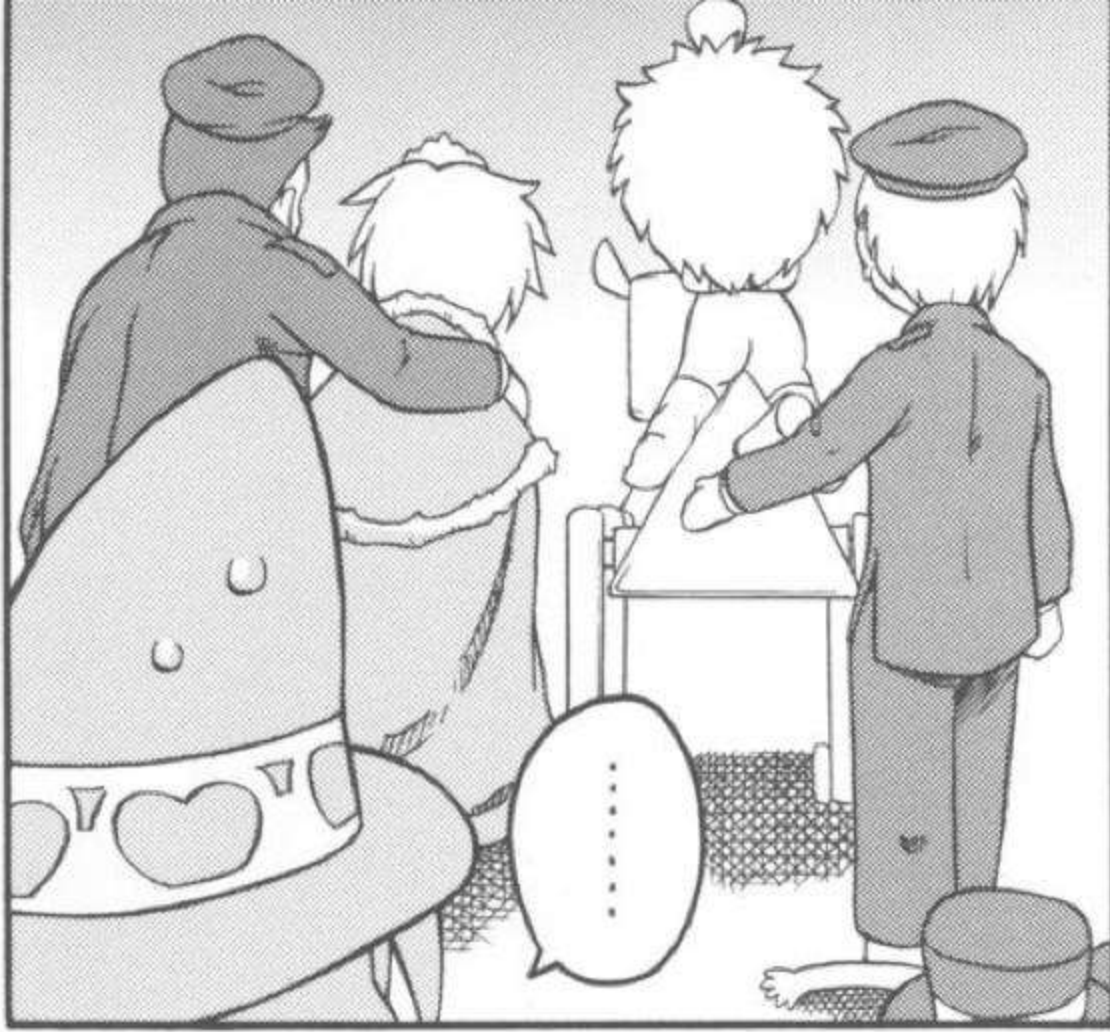
何だこつちんこ
出して歩くのが犯罪
だとしてもいっつかッ!!

犯罪なんだよ

ビクローサー



ええいうるナニ
ボリスがこらう
王子がとける
カーッ!!!







フアイニナキの
貞操はこのニクスオが

中うらー

キミは
犯されるサイト

...



ちゃんとお母ナキ
ヤリすぎですッ!!!
娘を何だと...

おっ

ヤリすぎマ?



おひナキの国はじまっこ以来
もっともプリンセスらしくない
プリンセスとよばれるのも

す

過去のベストプリンセスを
逃してきたのもあなたたちが
ぶたいなかせこではなくん



あなたに足りないもの...
それは努力カ!!
努力とは女のヌのカと
書く...

この特訓でそれが
身につく...



そこからがあなたの
姫始め!!!



かまっへん♡

オアー...!!?



とこっゆけで

姫始め?

全然わかんぬ...



ニギハヤヒ
ホロムナセ...



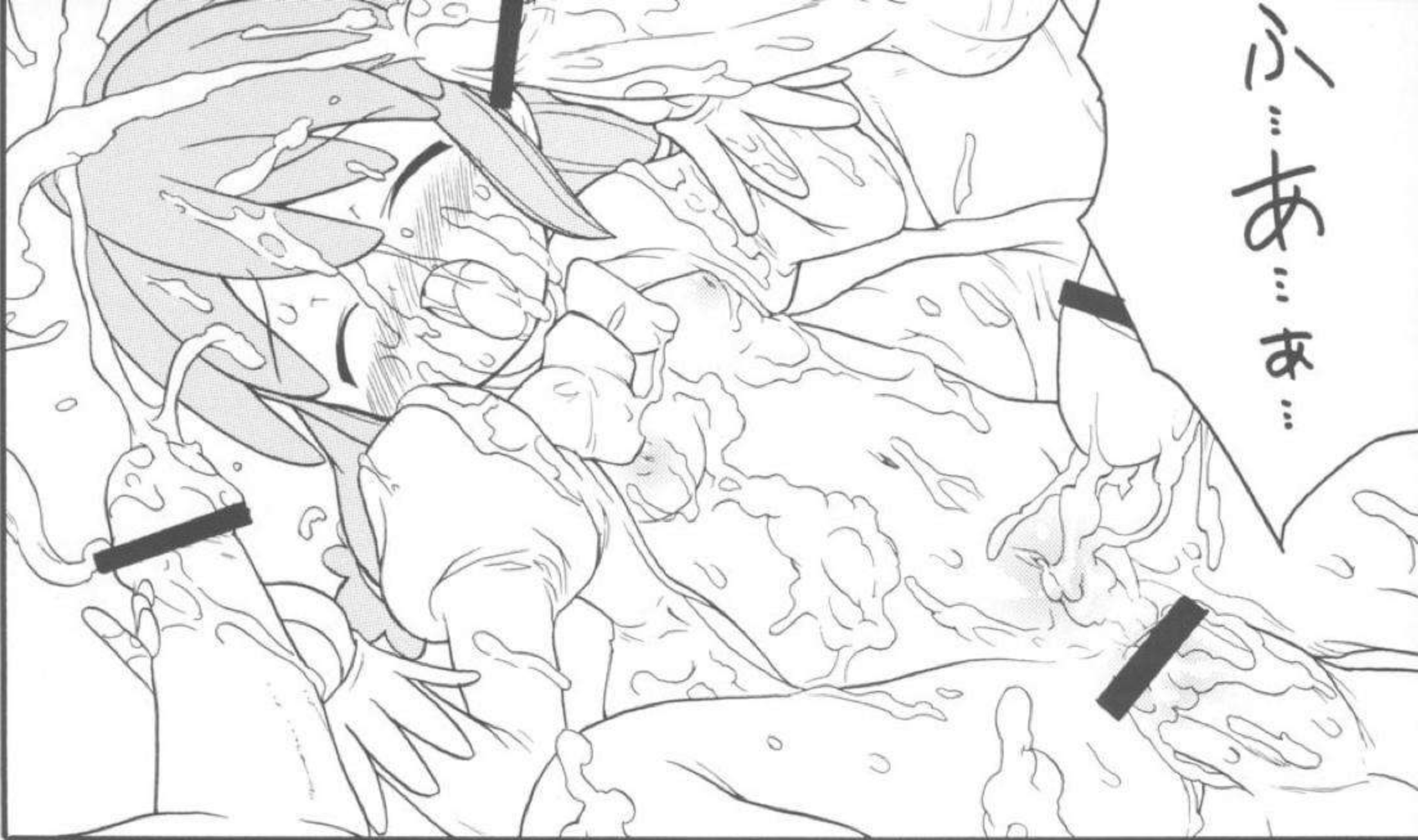
おおっ!!







ム...あ...あ...



キメロット...
あ...あ...

5時間経過



キメロット!?

ニニからは私が
マイニさまにかゆっ
お相手いたします♡

どうなる
アインセスパータ



きょうのうらなひ

あへ"あへ"まんじゅうがに

「あへ、あへ」



アインセスパ
...あ...あ...
アインセスパ

アインセスパ

天才王子姫

◎ ティオくんは天才幼児声
 であり天才幼児頭身の
 未熟半熟魅惑満点
 1P-7外幼児姫。
 ちんこちんど"女"に
 すま"ん"の"ま"よ!!
 偉いトには
 34か
 山からん
 だよ!



前2P=トという名の食之何姫萌え
 たらア>トとたら王子姫は5位
 2P=ト。人の業とはおそろしいものよ...

「お願いツインピークス」

☆プロローグ☆

きす祐介「やあ私はスーパージョー。夢のようなフィスト
オアツイストさ。」
 そーま「じゃあオレクラッシュヤーパンパンピガロ！」
 きす祐介「二人合わせて……えーと……？プリキユア？
 ……自信は結構あるけど。」
 そーま「じゃ始めますか」

☆ふたご星御前試合☆

そーま「その気ツ……そーまです。」
 きす祐介「やる気より……犯つてよー！エレクチオンしてよー！
 きす祐介です。」
 そーま「ほうエレクチオン……伝説の……ロボ？」
 きす祐介「いえ、勃起をイングリッシュで述べたまでで……。
 しかし、ロボでいうなら思春期性春合体。絶対絶対。」
 そーま「ジーメインなんか誰も覚えてねーッ！！」
 きす祐介「すらすらと出て切るじゃないノーツ！ファイアの
 嘘つきーッ！」
 そーま「ええいマイナーロボアニメなんかどうでもよくて
 今日はふたご姫の話ですよ？」
 そーま「とりあえず何姫萌えかねチミイレーン！
 きす祐介「テイオ姫一択。絶対絶対。ちなみにワタシは昔
 エロゲーの声優やりました。秘密秘密。」
 そーま「ヌナ……とりあえずプリンスプリンセスは
 置いていて……どっちが？レーン？テイオ？」
 きす祐介「レーン。レロレロプリンセス。舐り舐られ
 うっとりちゃんさ。」
 そーま「下の口がレイニーブルーってかい
 きす祐介「お父様ーッ！レーンがまた従者のち○ぽを
 咥え込んでるわよーッ！」「股（また）かい？」
 そーま「歌丸……お父様歌丸……」
 きす祐介「……歌丸？」
 きす祐介「惜しい人を亡くしたよね……グスウ。」
 そーま「いやまったく」
 そーま「ヴァニラさんに話をもどしますわよ」
 そーま「アレですよ……なんだあの声！ちつきしよう何歳だ！
 （満面の笑みで）」
 きす祐介「あんなお嫁さんが居たら多分、毎日全裸です。
 だって、ホラ、わかるちゃん……」
 きす祐介「ああー、ヴァニラさん（しゅわしゅわぶんぶん
 しゅわしゅわぶんぶん）！」
 そーま「そらちんこもブンブンするよ！」
 そーま「あーやだお下品。プリンセスらしく！」
 きす祐介「ワタシらしく！ふたごらしく！それが乙女のポリシー。
 きす祐介「いや、四捨五入で三十歳のポリシー？」
 そーま「80歳がなんだ！オレ達のおとぎストーリーは今から
 始まるんだよ！」

きす祐介「ロクサンサンで十二人！（二次元水子が）
 そーま「右から順にオレの天使のしっぽで」
 そーま「つか話か飛びすぎなんですよ！ヴァニラさんから
 かないみかにいったら！」
 そーま「それ不正解だから！ものっそい不正解だから！
 そーま「山崎ですよ山崎！ザキさん！」
 きす祐介「ブリーフ一丁で？」
 そーま「山ちゃんやめへんでえー！」
 そーま「ヤメロ！」
 きす祐介「ベタ！ものっそいベタですよ！」
 きす祐介「えー、それこそおかしな……」
 そーま「山崎を乗り越えた先にある未来！」
 未知が満ちてるフロンティアへ旅立ちすぎですよ！」
 そーま「ごめんちよつともどつてきて！対談にならないから！」
 きす祐介「ふふ、そんな混迷している状況こそ、今のプリンセス
 パーティを表しているということですよ。」
 そーま「プリンセスパーティはいいんですけどなんで耳は
 しやべらないんだろうね？」
 きす祐介「ぶつちやけまだワタシはお菓子作りのところまでしか
 みてないんですが、喋らないねー。」
 そーま「パーティはお菓子作りまででしょ？最近の……話
 まだ観てないけど。（……現在）」
 きす祐介「そーでしたっけ？もはや獣耳と主役（テイオ）
 しか観てないので記憶があやふや。」
 そーま「ていうか何耳？アレ？クマっぽいのと……何？
 ダルーンとしたやつ」

きす祐介「使用済みのコンドーム……」
 きす祐介「真性包茎みたいなの」
 きす祐介「ゴクリ……（テイオきゅんの下半身を凝視しながら）
 そーま「なにッ！テイオくんは仮性だぞ仮性！いま見てるもん！
 きす祐介「それ、エクリプス。こつち、テイオきゅん……じやない。
 エクリプスだった。」
 そーま「ごめんシエイドだった
 きす祐介「そういうボクらは「あの」階段を駆け下りてるので
 まあいじやん（ポークピッツ大好き）」
 きす祐介「プリンセスブライト……」
 そーま「左舷弾幕薄いぞ！なにやってんの！」
 そーま「プリンセス……」
 そーま「マニアめ……」
 きす祐介「この鈴置マニアめ！」
 きす祐介「そーそー、ボクは大の女装少年マニア……えーッ……」
 きす祐介「なぜバレた！」

☆集結！おひさま戦隊サンバルカン☆

そーま「あつ……さんがきたよ」
 きす祐介「……」
 「琴ちゃん、グへへ、琴ちゃん、グへへ……」
 「……時間まちがえたの……」
 そーま「（萌え……）」
 きす祐介「やばい、濡れてきた……（ゴクリ）」
 そーま「ええと何の話だっけ？鈴置洋孝？」

きす祐介「いや、ホーセイ兄さんの面白さについて。
 ……男は狩をする話」
 そーま「狩り？」
 きす祐介「な、何を狩ってきたというの？」
 そーま「ボンタン？」
 きす祐介「そりゃ……もちろん」
 そーま「（ざわ……ざわ……）」
 きす祐介「……おろろぎ さとみ」
 きす祐介「……まきに、淫獣狩り、か。」
 きす祐介「紫の髪で赤いリボンだっけ？」
 きす祐介「……モ……」
 きす祐介「……難易度高えー」
 きす祐介「……あー、ごめんごめん。勝手にエロスキャラ想像したら……」
 きす祐介「紫髪に赤いリボン……」
 きす祐介「紫髪に赤いリボンって紅蘭じゃないの？サクラ大戦の
 ……うーん、淫獣学園とかにいなかったっけ？前髪
 真つ直ぐなヤツで！」
 きす祐介「……もしくは、レア・ガル」
 そーま「……ていうかふたご！ツインズ……三西の話を！
 ……そして世界に革命を！」

☆フタヒメ オルタナティブ☆

すこぶる80「わんばんこー！」
 そーま「さあふたご姫放送してない地域の人が来ましたよ！
 すこぶる80「すいません、双子姫というのはアレですか。
 オルタナティブですか。」
 そーま「そうそうオルタナティブやるやつ
 ……おうッ、来たねーマリキチッ！！」
 すこぶる80「オルタの話なら放送してない地域ですが
 わかりますよ？つまりはイカの話さまじょ？イカ臭い。」
 そーま「……おおむね合ってる」
 きす祐介「……ていうかちんこの話しかしてない
 ……ノロイです！イタチです……多分！」
 すこぶる80「……呪いマース！呪いマース！カスミンに
 いましたよね、そんなキャラ。」
 きす祐介「……もはや「ふしぎ星のふたご姫」対談では
 なくなりつつある。」
 そーま「ええい貴様ら仕切り直しだッ！」
 そーま「……どうもおちんちんの国のプリンセスそーまです
 すこぶる80「マリみての国に住んでます。華族の娘の
 すこぶる80です。」
 きす祐介「……テイオである！（魂が……）きす祐介です。
 ……がまんできない。」
 きす祐介「……どうも、じつくりコトコト煮込み星の プリンセス D
 ……ギ 57です！」
 そーま「はいとりあえずキミタチの好きな姫でもしやべくつて！
 すこぶる80「断片的な知識だけで言うとか、ちんこ付いてる姫が
 ……いるんですって？」
 そーま「……（……デジャヴ……）」

きす祐介「むしろ全員が付いてる、ということでも丸く収めようよ。そうすれば世界は平和に。美少女には笑顔に。ボクにはテイオキョウに。」

「その前に、俺の部屋にあるはずの『麵ツユ』知らない？うどん食えないよー(ラァイン調)」

すこぶる80「麵つゆは切らしてますねー。餃子のたれだったらあるんですが。」

そーま「きつと机の上だよ」

「あーもー」

「醤油で食うからいい」

そーま「いやいやいやーんいやいやーん」

きす祐介「醤油で食う？醤油で食う？『醤油で食べちやおう！』」

「食べちやう」

「ブローミ、ネンスツ」

きす祐介「ドレスアップ」

「ボンツ」

きす祐介「でもその姿はどつからみても仮面ライダー響鬼すこぶる80」

「下半身は全裸。」

きす祐介「今、欲しいんだよね、君の下半身」

「決め台詞がソレ？」

すこぶる80「てゆか、双子はよくわかんないので教えてブリーズ！なんでちんこ生えてんのー」

そーま「双生児(ソーセイジ)だから」

「うわッ、素でもどしたなッ」

きす祐介「ちんこはアニメスタジオからの贈り物だよ★エロ同人で困らないように。」

そーま「バースデイだけに」

すこぶる80「な、なんだってー！ってことはアレですか。最初から僕らの行動は全て宇宙の意思によって決められていたのですか！」

きす祐介「な、なんだってー」

「絶対運命です！(オーブンカーで登場)」

そーま「(…)」

☆シヨタを狩るものたち☆

「うーん、それにしてもアレな…」

「あんたらシヨタ好きかなー」

そーま「ボクがシヨタ好きじゃなくて、シヨタがボクのことを好きなんですよ！」

「うわッ」

すこぶる80「てゆか、双子はちんこ姫の話しか上方が入ってこないんです。偏ってますか？」

きす祐介「あつてるよー。『ふしぎ星のちんこ姫』がボクらの愛言葉さ。」

そーま「ええいちんこから離れろッ」

「わかったんちんこ！」

☆ふたご姫とはシグルイなり☆

そーま「ボクはアルテッサが好きなんだー」

きす祐介「頭がダスキンの？」

「頭がジュエルリングの？」

「オーヤン・ファイファイ星の？」

そーま「カーリー姫」

きす祐介「ラヴィズオオヴアール悲しいけれど」

きす祐介「終わりにしようー、キリがないから」

すこぶる80「とりあえず双子のサイト探して情報を整理せねば。」

「次俺ねー」

「レイン」がスキ

そーま「なんだ汚れか」

「ど、ど、ど、汚れたッ！恋する乙女だから」

きす祐介「レインと書いて精飲姫と読む、つてのは角界では実しやかに噂されてるらしいからね。」

すこぶる80「汚れと聞いて飛んできました。」

そーま「レインは知らない、はじめのほうで語られていた衝撃の事実を」

そーま「きす兄さんが鈴置マニアだということを」

「うそ！そんな「たいらはじめ」な設定なの？」

そーま「あなたも一狼に変わりますーかー」

「なんでマコ」

すこぶる80「鈴置って日向君の声もやっつてたことでシヨタ声優。」

そーま「よく考えたらブライト・ノアも未成年だった。」

シヨタ声優。

きす祐介「デッドロンフィン！！(鈴置)俺の冥王計画(プロジェクト)はとりあえず」

きす祐介「全世界のシヨタをシヨタシヨタさせる。絶対絶対。」

そーま「ええいうるさいッ！せつかくアルテッサで歪みをもどそうとしたのに」

そーま「ふたご姫の話をしる」

「つだから、レインが好きなんだよー」

「青くて、なんか可愛いじゃん」

そーま「ああ汚れか」

すこぶる80「汚れと聞いて飛んで」

「恋する乙女」

きす祐介「まあまあ、皆さん。」

きす祐介「こはボクの性奴、精液飲み人形テイオ姫に免じて…」

「ネ？(どびどび)」

そーま「テイオくんはボクの妾ですよ？いくう」

きす祐介「ブライト「蕾、見してみいや？」」

そーま「ほいやー」

きす祐介「幼いといえど、さすがメラメラの国の虎眼流、テイオきゅんの『流れ』が決まった。」

そーま「秘奥ふしぎ星流れ」

「ブライト艦長がなぜ？」

きす祐介「プリンスブライト(純白) っつてのがいるんですよ。」

「なんだ(純白) っつて」

そーま「えッ！ブライトは汚れでは」

すこぶる80「汚れではなくて弾幕が薄いだけです！」

「また、汚れ」

すこぶる80「キーワードは『汚れ』『ちんこ』『純白』か…」

これが意味するものは「イカ臭い。」

そーま「手間なしブライトなのに汚れとはこれいかに

きす祐介「そんなイカ臭いヨゴレにべた惚れなのがレインなのであった。」

「ちよつとまで！レインは可愛いのー！！」

そーま「汚れ同士はひきあいますから。『貴様新手的よこれかッ』」

「ドドドドみたいな」

すこぶる80「レインはアレですか？スカイラブハリケーンで言うと発射台の方ですか？」

きす祐介「むしろガッツが足りない！の方。」

「跳べもしないのかよ…」

すこぶる80「なるほど、レインのポジションは石崎君つと。メモメモ。」

「あー猫メイドはつけーん」

すこぶる80「テイオくんの耳は一応猫耳つて言うんじやろうか。」

そーま「ぬこみみです」

すこぶる80「ぬこ。今気づいた。『テイオ』 っつて名前は『帝王』から来てることに。」

「カール・ハインツ」

きす祐介「敵相手に表道具は必要ない、のである。」

(拳から歯が飛び散る)

そーま「メラメラの国…まこと広うなりもうしたのである」

きす祐介「おひさまの国のふたごは今日も同時に達した。」

そーま「ぬふう」

「ぬふう…じゃ、なーい」

そーま「この双子こそ宇宙の兜を両断するほどの業前を持つおひさまの国最強のプリンセスなのだ」

「レインは可愛いってのが…何故、わかんないかねー」

そーま「オレに惚れてない幼女などすこぶる80「髪が赤かったら『ベルリンの赤い雨』 っつてネタになったのに。」

そーま「赤いのは岡田ファイイン真澄」

「ファイインファイイン？」

そーま「ファイインファイイン！」

きす祐介「ランランライン…あれ？」

「ランラインハルト？」

そーま「ラインハルト？」

きす祐介「銀河の歴史がまた一ページ…(終)」

そーま「…」

きす祐介「次回の『美の巨人たち』はメラメラの国より『麗しきシヨタ王の精飲』を特集します(ナレーター◆小林薫)」

☆メラメラの国へ愛をこめて☆

「そーいや、ミレーヌって姫はどうなの？」

すこぶる80「ミレーヌが見れぬ(一部地域のため)」

そーま「誰？」

そーま「ファイヤーボンバー？」

「いなかった？猫姫！」

そーま「…リオーネ」

すこぶる80「え、それって一文字も…」

そーま「にゃんこ姫は一番人気ですよ！多分すこぶる80「外見が由乃さんっぽい」

そーま「でた」

きす祐介「一番マトモなので、まとめ役やっていますな。
そーま「(やつとふたご姫っぽい対談・・・よし!)」
「俺が見たときは「塩がな〜い、塩がな〜い」って騒いでたよ
・・そこにガーゴイルがきて・・」
すこぶる80「耳を触って逃げてった
きす祐介「ネメシス・ラ・アルオール、君は獣耳つこだ。」
そーま「そんな〜なぜだ、なぜ私が塩に〜ッ!?!」
きす祐介「すると私のやつていたことはすべて」
そーま「そうか・・さらばだ・・」
「ココで音楽!」わたーしに、かえりなさいー
そーま「久しぶりだねエ使徒君三年ぶりかネ?」
そーま「この冬月と戦う気かネ!勇敢な使徒君だ」
そーま「だが愚か者だ!」
きす祐介「魂のルフランー!!」(ふつといて、何でこのネタ!)
すこぶる80「レオーネとやらは何でそんなに人気者
なんですかしらん。脱いだとか。」
そーま「リ」な「リ」
「レオーネ・・・もう、混ざってるな
そーま「にゃんこみみがつアレだ。イデとかそんな
57「あつッ YAIBAI!!」
そーま「YAIBAI?高山みなみのダンナ」
すこぶる80「外見が由乃さんなら性格は多少悪くても許す!
そーま「性格もよしよしよしの
そーま「悪いのはアルテッサ
そーま「だがそこがいい
すこぶる80「アルテッサってのはパソコンでしたっけ。
変態は大歓迎。
そーま「リオーネはいずれオレの姉さんとなるお方よ
きす祐介「聞き捨てならねーな。テイオ姫は既に〇人目の
ボクの子を孕んでるが」
そーま「ふふ...その〇人とも」
「奇形・・」
そーま「違うわ」
そーま「気持ち悪いな!
すこぶる80「2人目の父親は僕なんですがね
そーま「なんだ、だつてー」(AN省略
きす祐介「まさか!あの時の...!」スワッピング王に
オレはなる!」のフレーズでお馴染みの!
そーま「すこ・ロ・ブル」
「なんだセイラさんの新しいのりものか?」
「D・ブル」
すこぶる80「D」って付くと「ワンピース」っぽくなって
お姉さま方の人気急上昇じゃないっすか?
そーま「代償としてケツがガバガバになるよ?
「なんで口でワンピース?
すこぶる80「モンキー・ロ・ルフィ
きす祐介「テイオ姫は男のコだけどブルマ愛用★」
略して「D・ブル」
きす祐介「もしくは「アナルにフィストがダブルで入る
テイオ姫」の略。
そーま「そんな緩くないよ!さっきためしたから間違いない
「気になってたんだけど・・」
「貴方達は・・」

「土曜の朝っぱらにこんな事考えながら・・」
そーま「(ざわ・・)」
「ふたご星」見ているのかー!!
そーま「モチロンソウヨ
「ウ。うそだと・・き、きすは違うよね・・」
きす祐介「さとしゆんサマハスバラシイ監督デス
きす祐介「ピコピコ
「の脳が・・」
すこぶる80「僕は違いますよ?土曜の朝は「マリみて夏」
をてるので(脳内で)
「だーだーだー!!
「駄目ー!!
「どいつもこいつもー!!
「ちやんとアニメ見なさいよ!真っ直ぐ純な気持で!!
そーま「では?タンは?
「えッおれ!?俺は・・」
「エレメンタル・ジェレイド派だから!!
そーま「でた
きす祐介「可哀想に...:酸欠乏症にかかって...:
(ムシキング)で息を荒げながら」
そーま「ムシキングはいいよね!ボボたんがオレの名前を!
オレの名前を!
すこぶる80「虫に前えるとは、いい時代になったものですよ。
「ムシキングのパンツ見えそうなのヤツより、レン!!
そーま「誰?蓮舫?
「レンはねー、髪が青いんです!「クウ?」って言うんです!
可愛いのです!!
そーま「食う?
そーま「なにを?マイメロ?
そーま「うんくを食うの?
そーま「出番だ!きすの人!
きす祐介「兎は、自分の排泄物を、食う。へーへーへー。
「そうそうッ!ふたご星!
「だーかーらー、レンが可愛いんだって!!
そーま「汚れな
すこぶる80「発射台だしー
きす祐介「さつきからレン、ヨゴレ、プライト、弾幕薄い、
のループになってるよ!私とテイオきゅんとエクリプスと
プライトもループしてるよ!(ケツで連ケツ)
そーま「(ざわ・・シエイドが・・ざわ・・」
すこぶる80「ところで、レンは出てきますが、
ファインってのは出てきませんナ
そーま「ファインはかわいいよ!
「まてー!!
そーま「なあに?
「なんでレンは汚れて、ファインはかわいいんだー!
(ムラサメブレイドで登場)
すこぶる80「レンはおっぱいでかくなりそう。ファインは
おっぱいでかくなりそう。
きす祐介「そしてテイオキユンは一生シヨタのままにいる。
そーま「うむ
「この銀河系のロリホモ集団目が!!

きす祐介「え、そんな、照れるな。
そーま「てへへ
すこぶる80「やば、勃起してきた
「なんでだよ!立つ理由ないじゃん!!
きす祐介「それはそれ!これはこれ!
きす祐介「理由が無いのなら!理由を作れば良い!
そーま「シヨタにとつてテイオは誇りそのものの胸の中に
輝く真白き打掛
そーま「ゆえに勃起やむなし
「・・・なんだか・・・俺の考えが間違っている
気が・・あれッ?
きす祐介「ジークち○ぽ!
「ジークちん○ぽ!
そーま「○ークちん○ぽ!!
「さーみんなで声をそろえてッ!!
きす祐介「ロリま○こ!
すこぶる80「坊やだからさ」
そーま「初潮
「そろそろッ!!
☆そして伝説へ☆
「えーつと結局「ふしぎ星のふたご星」は・・」
そーま「その気
「猪木ッ!
そーま「気合十分ッ!!
すこぶる80「(猪木ボンパイエが流れる)
きす祐介「そこに象山が登場ッ!「フィストオアツイスト」
そーま「じゃあオレクラッシャーパンパンビガロ!
きす祐介「つて、最初に戻ってルー!!」(ガヒーン!)
そーま「天井天井ですよ
きす祐介「...とりとめないね。そしてロマンティックも
止まらないね。
すこぶる80「見てないアニメでここまでできた
「ふたご欲しい
そーま「はい!(宗兄弟を)
そーま「アニメのことにはほとんどふれてないよ!
ちんこばかりだ!もう!
すこぶる80「でも、お客様は皆さんご目的ごまじしよ?
きす祐介「ふふ、お怒りになるな、そーまさんはただ、
ち○こ姫モナムーに萌えていれたい...。それだけです。
きす祐介「なあって言ってもやつぱりロリは
止めらんねえな!ゲハハハハ!
そーま「オレは金田朋子と山崎パニラさえいれば
すこぶる80「僕は下のあるなしは問いません。
上さえなければ。
きす祐介「アナルさえあればもうなにもいらぬ、
大黒マキでした。つてそろそろ終わりでいいんですか?ホントに。
そーま「うむ。ゆるゆるーつと(尻が)



何+隠(230)
絶対

何+隠(230)

何+隠(230)
絶対。

何+隠(230)

アルト+サはX+オ+エ
ズ!!! = ちゃんかえらいいきとる
リニ+リ+姫+ちゃん+あよ。
+イス+水橋ボイス!!
+イス+モジ+モジ+!!

5+キ+ニ+!!
何+隠(230)
絶対。

何+隠(230)



「おねがい☆ふしぎ遊戯の
ふぬけツインズ」 ぎす 祐介



あああああああ——
こう毎日 クソ暑いと
国民の血税を
湯水のように使って
豪遊するくらいしか
やるコト思いつかねー

ゴッゴッ



ふあんふあんファイン、らんらんライン。その謎に迫ります。

コンビニ感覚で
そんなコト言れても
困るプロモよ……？



えー？
じゃあねー
夏と言ったら
あとは
千葉テレビで
イデオ
劇場版観てー
テレビ神奈川で
ガンダム劇場版
三日連続
観るしか
ナイかなー
ナイかなー？



正に
ニートか。

いけないプロモ！
まったく
いけないプロモ！



少々蒸し暑いからって
たるんでは
立派なプリンセスには
なれないプロモよ？
そもそもお二人は……

ブモ

裸

なんで全裸
プモかー!?

しかも「コマ」で!

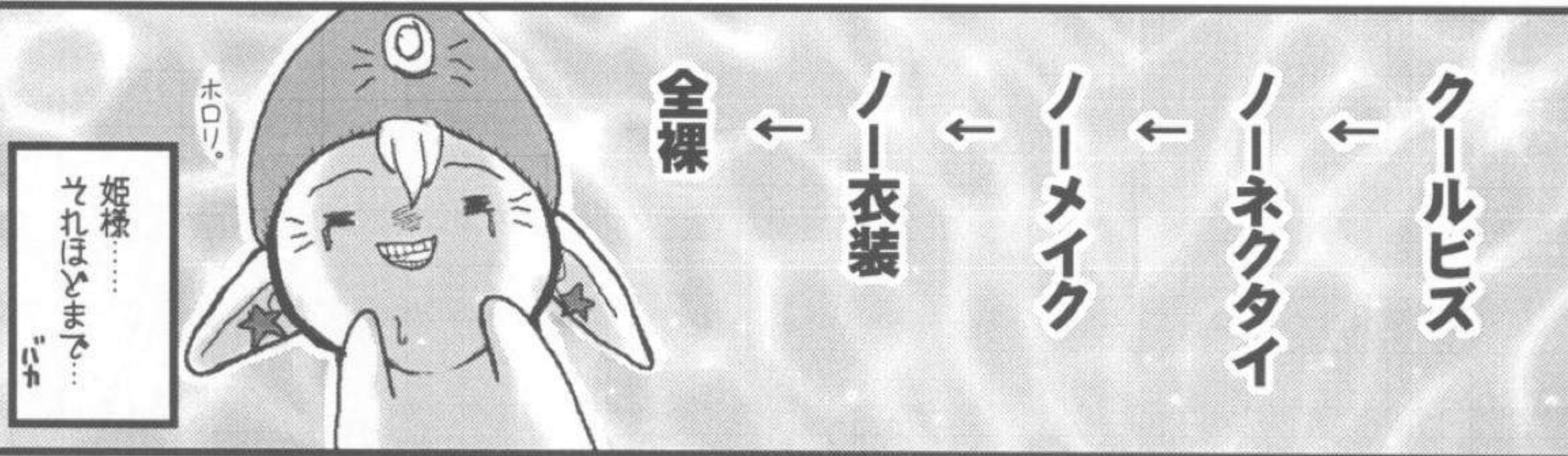
ええええー?
知らないのー?!

クールビズ
だよ!!
COOL
ビズー!!

なんで
わたしも裸に...

???

ポッポッポッポッ〜



なにそれ。

クールビズはその後 燎原に火を放つが如く大流行……

大量のポリス沙汰で逮捕者が続出したとか——

公然わいせつとか

お留守ですか?



健康的に日焼けした
テイオ王子のクールビズ姿を
一目見ようとこの夏だけ
メラメラの国の人口が
三倍に膨れ上がった
したとかしないとか

にやあく大当たり！
おまけで「もう一本」
ぺろぺろしたいのだあ
~~~~~♪



アルテッサ！  
ちよつと  
メラメラの国まで  
外交に行っ  
てこ

黙れホモ。



# アホ毛省略

たんかよくわかんない  
マニガズ"はいません"  
ボクにもなにかたんか  
白し

そ-ま.



男か女かは  
関係  
ないのだった

最初から  
なっ!!



きす祐介でした。





# お く づ け

発行日: 20050814

発行元: そーま党

印刷: しまや出版様



子供(子供)はた  
下(下)にた(下)にた!